

すくすくだより

2013年9月号

明照保育園

毎日、暑い日が続いています。暑い夏、楽しいことが沢山あり、エネルギーに過ごしたお子さんたちも、夏の疲れがそろそろ出てくる頃です。睡眠・栄養・休養を十分とって残暑も元気に乗り切りましょう。

さて、9月9日は「救急の日」です。なかなか普段気にしていないと思いますが、救急箱の中身はそろっていますか？ 薬は期限が切れていませんか？ なくなっている薬はありませんか？ 再度確認してみましょう。ちなみに、救急箱に入っていると良い物は、体温計・絆創膏・包帯・ガーゼ・脱脂綿・綿棒・ピンセット・毛抜き・はさみ・湿布薬・化膿止めなどです。いざという時に慌てないように、取り出しやすいところに保管しておきましょう。

覚えておきたい☆簡単な応急手当て

すり傷・切り傷

応急手当て

- ①傷口を流水で洗いましょう。
傷口を水道水でよく洗い、砂などの異物や細菌を取り除きます。
多少出血しても、十分洗い流します。
- ②洗い流したら水分を拭き取りましょう。
- ③傷口に被覆保護材を貼りましょう。
救急絆創膏と似ていますが、それより少し値段がお高めのガーゼがついていないものになります。

こんな時は病院へ

- ・顔の深いすり傷や頭や目の近くの切り傷
- ・いつまでも傷口がジクジクしている
- ・いつまでも痛がったり、激しく痛がる
- ・土や石、ガラスが傷口に入り、取れない

注意

消毒液やガーゼは使用しない！！
傷口には滲出液という透明の体液がにじみ出てきます。この体液に傷を修復し皮膚を再生させる様々な物質が含まれています。消毒薬は感染は防ぎますが、傷を治す細胞を殺してしまったり、ガーゼはこの液を乾かしてしまいかえって治りを妨げてしまいます。

鼻血

応急手当て

- ①下を向かせる、もしくはうつ伏せにしましょう。
血液を飲み込むと嘔吐の原因にもなります。飲み込まないために下を向くようにします。
多少出血しても、十分洗い流します。
- ②鼻のつけ根をつまみましょう。
- ③冷たいタオルで冷やしましょう。
冷たい物をあてると、血管が収縮するため、効果があります。

こんな時は病院へ

- ・あまりにも頻繁に出る場合や、15分以上出血が続く
- ・頭を強く打ったあとの鼻血

注意

首の後ろを叩くことや、ティッシュなどを鼻につめることで、粘膜を傷つけたり出血を長引かせます。

急な病気などで困ったら

小児救急電話相談

電話番号 #8000 (短縮番号)

つながらない場合は、☎052-962-9900

相談日時 毎週土・日・祝日・年末年始 19時～23時
こどもの救急ホームページ

アドレス <http://kodomo-qa.jp/>

子どもの病気に関する判断の目安やアドバイスなどを紹介していますので参考にしてください。

9月の健診のお知らせ

- 4か月児健診 (受付 9:00～10:30)
毎週火曜日: 3、10、17、24日
- 1歳6か月児健診 (受付 12:50～14:00)
毎週水曜日: 4、11、18、25日
- 3歳児健診 (受付 12:50～14:00)
毎週木曜日: 5、12、19、26日

場所: 保健所・保健センター
(中野町字中原「ほいっぴ」内)
問合せ先: ☎39-9153

*対象者の方には、ご自宅へ健診日の1か月前に健診票を郵送します。
ご案内の日時に健診を受けてください。

林のつぶやき

毎月、このすくすくだよりの作成にあたり、国で定められている年間行事は何かあるかな？と調べたりします。今月は、子どもにも関係するもので「発達障害福祉月間」がありました。発達障害に対して理解や協力をしていこうというものです。

発達を心配する保護者の方からは、「よく動くけど大丈夫かな」「あまりお友達と遊ばないけど良いのかな」「自分の思い通りにならないとかんしゃくを起こして困る」「みんなと同じことができなくて心配」などの声が聞かれます。成長とともにお子さんの様子は変わりますが、中には発達障害が見過ごされている場合もあります。

何か心配や不安がある場合は、ご家族だけで抱え込まず、通っている保育園や幼稚園の先生、保育課、こども保健課、こども発達センターなどにお気軽に相談してくださいね。